

社会福祉法人 はるにれの里
児童発達支援センターさんりんしゃ
通園のしおり【ちゅーりっぴー】



出発進行！

2025年度版

(作成：2025年2月8日)

●さんりんしゃ名前の由来

「前輪をお子様、後輪を支援者と保護者として、支援者と保護者が協働してお子様の発達を前に進めるという意味で名づけられました。後輪はどちらか一方が回っても同じように回らなければまっすぐには進まず、同じところを回ったりぐにゃぐにゃと蛇行します。

「お子様を後ろから応援するだけでなく、ご家庭とも一緒に考え、お子様の成長を喜び、一緒に見守っていきます。」

●事業所運営理念

- ①自閉症児をはじめとした発達障がい児への早期療育による生活の安定と成長環境をつくり、家庭や地域への支援の広がりや学齢期への繋がりを確かなものにしていく。
- ②保育所等訪問支援事業・障害児相談支援事業による地域での児童の発達支援を進めていく。
- ③職員は、自分で考えること、積極的に報告・連絡・相談を行うこと、チームで日々の支援を行うことを遂行できるように常に努力する。
- ④保護者学習会やペアレント・プログラム等を通じて、保護者同士のつながりや相互交流を大切にし、保護者がエンパワメントできるよう、内容の企画と開催をする。
- ⑤児童発達支援センターとしての中核的機能を活かし、札幌市児童発達支援研修や札幌市子ども部会研修等の運営に携わることを通して、地域にある関係機関や子どもに関わる職種の人々とのネットワークの構築を図る。また、札幌市障がい児地域支援マネジメント事業を通し、地域の関係作りを進める。

●支援方針

大人になってからの生活に必要な視点「暮らし」「しごと」「よか」を念頭に置き、将来生活につながるよう、児童発達支援ガイドライン・発達支援の5領域を取り入れながら、総合的な支援を行います。

●5つの柱〔支援内容〕

- ① 暮らし～健康を意識し、食べること・身辺のこと・生活リズムなど、毎日の継続した発達支援の中で、ご家庭とも共有しながら支援を行います。（5領域の■健康・生活■運動・感覚■言語・コミュニケーションの領域が含まれます。）
- ② しごと～将来を見据えて、『仕事をする』姿勢や学習の基礎となる姿勢が身につくよう、お子様一人ひとりに合わせた課題設定を行います。見て考える力、自ら取り組む力、最後まで取り組む力、終わったら次に進む力、人とのやりとりの力などを養います。（5領域の■認知・行動■運動・感覚■言語・コミュニケーションの領域が含まれます。）

- ③ よか～先生やお友達とのかかわりの中で、家族以外の人への信頼感や一緒に遊んで『楽しい』と思えるような経験を積みます。また、将来的にも自分一人で遊べる（過ごせる）力は大切なので、お子様の興味に合わせて過ごす時間も設けます。（5領域の■認知・行動■言語・コミュニケーション■人間関係・社会性■運動・感覚の領域が含まれます。）
- ④ 家族支援～ご家族と一緒にお子様のことを考えることができる行事や機会を設定します。保護者向けの学習会やペアレントプログラムも年間予定の中でご案内します。
- ⑤ 地域支援・移行支援～地域で相談を必要としている家庭・幼稚園・保育園・事業所のサポートを行います。また、現在通っているお子さんの就園・就学先との連携、必要に応じて都度、地域機関・関係機関との連携を行います。ライフステージの移行に伴う支援機関への引継ぎや保護者の不安や疑問に対し、各機関と協力しながら懇談・支援会議・家庭訪問等を行い、お子さんのサポートをします。

●概要（児童発達支援センターさんりんしゃ）

- ・所在地：札幌市西区福井4丁目3-5
- ・開設年月日：平成25年4月1日（平成18年4月1日より、児童デイサービスを開所）
- ・定員：1日24名（ひまわり枠18名、ちゅーりっぷ枠6名）
- ・対象年齢：就学前のお子様
- ・サービス提供時間
 - ひまわり枠：10:00～13:45
 - ちゅーりっぷ枠：14:45～16:30
- ・休園日：年間予定の通り（GW、年末年始は、連休になります）
- ・送迎：決められたルートを元に、ご自宅の近くまで伺います。ご指定の場所までは、ご家庭で危険のないように付き添いをお願いします。
- ・事業内容：児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業、障がい児相談支援事業、札幌市障がい児地域支援マネジメント事業、札幌市障がい児等療育支援事業
- ・職員配置：センター長、児童発達管理責任者、障がい児地域支援マネジャー、相談支援専門員、保育士、児童指導員、支援員、嘱託医



●登園・降園について

- ・送り迎えのためご家庭の車で来所される場合、玄関前スペースが空いておりますのでご利用ください。
- ・お子様が登園した後は、防犯のため玄関は施錠しますので、インターホンでお知らせください。

※お休みする場合

契約時の重要事項説明書にもありますように、連絡のない場合は教材・おやつ代の支払いが生じます。

●送迎について

■送迎ルートについて

・年度初めに、その年ご利用のお子様を対象にルートを決めます。年度によって変わりますのでご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

・例年、1回の送迎時間が1時間近くかかるルートもあります。なるべく乗車の負担がお子様にも少ないように考えております。決まったルート・送迎先以外の指定場所での乗降車のご相談には対応できませんので、ご協力をお願いします。

・福井地区にお住まいで、さんりんしゃから500m以内の方にはご家族に送迎のご協力をお願いしております。ご家族の都合で送迎が難しい場合はご相談ください。

・送迎範囲外の地域（近隣の方、西区以外、八軒一部、二十四軒、発寒一部）

■遅延が生じる場合

・送迎車の遅延状況は、メールで一斉配信します（ご登録いただいた方へ）。

sanrinsha@harunire.or.jp 【件名】さんりんしゃです（返信しないでください）

からのメールには、返信しないようにお願いします（登録者全員に返信されます）。

・さんりんしゃにご連絡の場合は、新たに sanrinsha@harunire.or.jp を入力し、送信をお願いします。

■当日の変更について

・当日の欠席、遅刻、送迎先変更などの連絡は、お電話でお知らせください。

■長期休みのご連絡について

・幼稚園が夏休みなどの長期休みや午前保育などの関係で送迎先や送迎方法が変わる場合は必ずご連絡をいただきますようお願いします。

※両親以外の方が送迎される場合・両親以外の方にお子さんをお返す場合

・両親以外の方がさんりんしゃまで送迎される場合、もしくはこちらからお渡しする場合は、予めご連絡をお願いします。ご連絡がない場合は、保護者に連絡し確認させていただいた後のお返しになります。なお、初めての両親以外の方にお渡し

する場合は、お名前を伺うことがあります。ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします



●準備するもの

・持ち物、衣類すべてに「名前」を記入してください。紛失・間違い防止の観点からです。

◇ ファイル、靴下など全てお願いします。

◇ 巾着袋は、外側の見える位置にお名前を記入してください。

• 使いやすい道具の工夫で上手な操作に繋がり、自信にも繋がっていきます。

例：リュックの開閉を練習しているお子さんは、チャックに紐やキーホルダーをつける。

例：荷物を片付ける練習をしてお子さんは、少し大きめのリュックや袋を用意する。

例：靴の踵を引き上げるのが難しいお子さんはゴムをつける。

• 連絡ファイルなど、古くなった物は、ご家庭で新しい物をご用意ください。

※揃えるものがたくさんあり大変かと思えます。初回の療育日に間に合わない場合はご相談ください。すぐには使わないものもあります。

 <p>B5 ノート</p> <p>はなまるノートで使います。1冊ご用意ください。ノートがなくなりましたらご家庭でのご用意願います。</p>	 <p>A4ファイル</p> <p>さんりんしゃからの配布物などを入れます。ファスナー付きのものをご用意ください。</p>
 <p>リュックやレッスンバック</p> <p>大きめの方が、お子さんが荷物の出し入れをする際、操作しやすくなります。</p> <p>たて40cm×よこ30cm位のもの</p>	 <p>着替え</p> <p>下着・上着・ズボン・靴下を1組袋に入れて、毎日リュックに持たせてください。</p> <p>※袋はビニール袋でも構いません。</p>
 <p>ポリ袋</p> <p>汚れた衣類を入れたり、オムツを入れて持ち帰り用として使います。</p> <p>1枚ずつに記名をお願いします。</p>	 <p>オムツ・おしりふき</p> <p>必要な方のみ用意してください。</p> <p>持ち帰りにご協力をお願いします。</p>
 <p>オムツ袋</p> <p>使用済みオムツをご家庭に返却時に使用します。</p>	 <p>エコバックなどの袋</p> <p>工作などを行なった際に作ったものを入れて持ち帰ることがあります。</p>
 <p>帽子</p> <p>外遊びの際、持たせてください。</p> <p>折りたたんでリュックに入る形状のものを用意してください。外遊びの際は事前に連絡します。</p>	

※連絡ノートはこちらでは用意しませんので、連絡したいことなどがある方はご家庭でご用意ください。

●さんりんしゃでの生活

■服装について

・幼児期の発達には、認知・体・心ともに目覚ましい発達をする時期です。その時期に可動域が狭くなる環境ですと、うまく身体を動かすことができないかもしれません。登園時の服装につきましては、動きやすい服装（関節や首、ウエストなどが締め付けられない服、衣類の着脱がしやすい服装、ジーンズ素材は動かしにくいので綿素材の伸縮性のある服をお勧めします）をご用意ください。身体を自分の思ったように動かすことができることで体のイメージをもつことができ、この時期の経験やスキルの習得につながります。そして、今後の生活の基礎になっていきます。

・活動により、服が汚れてしまう場合がありますので、登園に高価な服は必要ありません。着替えも毎日バッグ内に入れていただきますので、季節ごとの入れ替えをお願いします。

・パーカーのフード、紐、大きすぎる服は事故や転倒に繋がる可能性がありますので、安全面に配慮した服装での登園をお願いします。

・ヘアゴムの中には大き目の飾りがついている物も多くあります。

壊れた際、危険に繋がる可能性があるものはお控えいただきますようお願いいたします。

・ヘアピンは誤飲や怪我の危険があるため、着用しての登園はお控え下さい。

■外遊びについて

・5月～11月は公園に遊びに行くことがあります。月の予定表で公園に行く日はお知らせします。公園遊びの日は、思いっきり身体を動かし遊ぶためにスニーカーを履いての登園をお願いします。また天候によってジャンパーなどのご用意もお願いします。



●健康管理

■体調不良の時

・ご家庭で朝の様子がいいつもと違う際には必ず検温し、無理をさせないようにお願いします。こちらで平熱より高い熱が出ている場合は、ご家庭に連絡を入れ、迎えに来てもらうことになります。熱がなくても、嘔吐や腹痛、元気がない場合には保護者の方に連絡を入れます。

・保護者の方の連絡先は、必ず連絡がつく番号をお知らせください（携帯、職場等）。

さんりんしゃからの番号 ①080-3692-7819

②080-4834-5209

③070-1427-8605

※いずれもこちらからかける場合にのみ使用します。さんりんしゃへかける場合は「666-7781」へお願いします。

・下記のような場合は、様子を見て欠席するか、病院へ受診されることをお願いします。

症状	登園を控えるのが望ましい場合
発熱	<ul style="list-style-type: none"> 朝から37.5度を超えた熱とともに、元気がなく機嫌が悪い。 食欲がなく、朝食・水分を摂れていない。
下痢	<ul style="list-style-type: none"> 24時間以内に2回以上の水様便がある。 食事や水分を摂ると下痢がある。 下痢に伴い、体温がいつもより高め。 機嫌が悪く、元気がない。 顔色が悪く、ぐったりしている
嘔吐	<ul style="list-style-type: none"> 24時間以内に2回以上の嘔吐がある。 嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである。 食欲がなく、水分もほしがらない。 機嫌が悪く、元気がない。 顔色が悪く、ぐったりしている。

■感染症にかかった時

- 別紙にてご案内します。

■薬（与薬）について

- 専門的な配慮が必要な薬の投薬は医療行為にあたる為、当センターでは原則としてできません。

但し、副作用の危険性がないものや、専門的な配慮がないものや、持病をお持ちのお子さんの緊急の場合の備えや、かぶれや皮膚疾患のかゆみ止めなど、センターが必要と認めた場合に限り、病院で処方された薬のみお預かりしますのでご相談ください。

※与薬をする場合

- 与薬依頼書に必要事項を記入し、「与薬依頼書」、「薬剤情報提出書」を薬と一緒に提出して下さい。原本は服薬期間終了日まで毎日お薬と一緒に持ってきてください。
- 使用する薬は1回ずつに分け、当日分のみご用意ください。
- 密閉袋に入れてお子さんの名前の記入をお願いします。また、薬の袋や容器にもお子さんの名前を記入してください。
- 投薬期間が複数にわたる場合は、服薬期間を記入してください。その原本に服薬終了まで記載します。原本は服薬最終日にコピーしたものをお返しいたします。原本はさんりんしゃで保管いたします。
- 与薬依頼書（別紙）はコピーしてご使用ください。

The form includes sections for:

- 患児の氏名 (Child's Name)
- 年齢 (Age)
- 性別 (Gender)
- 病名 (Illness)
- 服薬期間 (Medication Period)
- 薬剤情報 (Medication Information)
- 服薬回数 (Medication Frequency)
- 服薬時間 (Medication Time)
- 服薬回数表 (Medication Frequency Table)

■療育中のケガについて

- ケガの状態がひどい場合には、保護者の方へ連絡と同時に病院へ搬送または救急車を要請します。

※協力医療機関

- ・病院名：後藤田医院（西区西野3条9丁目10-37）
- ・医師名：後藤田 栄貴
- ・診療名：内科医、小児科

●行事について

■さんりんしゃで行っている行事

- ・年2回参観週間を設けています。お子さんの療育の様子を参観していただけます。
- ・保護者向け研修会等（ひまわり・ちゅーりっぷとも利用できます）年8回、予定しています。詳細は近くなりましたら配布いたします。
- ・学習会、ママさんトークデー、先輩ママさんを迎えたトークデー等を予定しています。

※行事等の際に家庭用カメラで保護者の皆様が撮影された写真・動画に関しまして、SNSなどに掲載する行為は禁止させていただきますのでご配慮ください。

●月間予定について

- ・毎日の設定活動内容を簡単なイラストと文字で月毎にカレンダーにし、月末に翌月分のものをメールでお送りします。お子さんと一緒に確認し、今日は何をやるかなと見通しの理解の手立てとしてご使用ください。

●はなまるノートについて

■はなまノートについて

- ・ちゅーりっぷ卒ではその日の様子を「はなまるノート」に記載しお伝えします。

■はなまるノートとは？

- ・「お子さんが自分のいいところに気が付く、自信を持たせる、自分からよい行動を行っていく」ことを支援するためのノートです。1日1枚、お子さんのよい行動をスタッフが記入します。本人へ読んであげることが前提です。できなかったこと、失敗したことなどは記入しません。
- ・お子さんがさんりんしゃでがんばったことやできていることを記入していくことにより、ノートが好きになり「またがんばってみよう」と思えるようになって考えています。

■使い方

- ・スタッフが、その日にがんばったことなどをさんりんしゃで記入し、お子さんと一緒に確認します。内容は、本人がわかる言葉づかい、イラスト等を使用して書きます。



・おうちに持ち帰り、保護者の方にお子さんと一緒に目を通していただき「さんりんしゃで頑張ったね」と褒めていただけたらと思います。余裕があれば保護者の方も下の空欄にコメントを書いていただけたらと思います。コメントは「がんばったね」などでもいいですし、「おうちでは〇〇がじょうずにできてすごいね！」などでもいいです。花丸マークやシールなどを貼っていただいても OK です。「もう少しがんばってね」など負荷をかけるような言葉やけなす言葉は書かないで下さい。

・そして次の利用日に、さんりんしゃに持ってきていただき、スタッフがお子さんと一緒に読んで褒める関りをします。はなまるノートは毎回持たせて下さい。

■ねらい

□子どもにとって

- ・記録に残すことで、自分のがんばっているところ、よいところがわかる。→自信につながる
- ・どう行動することがよいことなのか、わかりやすい。→さらになんかやってみようと思える！

□保護者にとって

- ・お子さんがさんりんしゃでがんばったことが具体的にわかる。
- ・お子さんとがんばったことやよい行動を共有することができる。

□スタッフにとって

- ・お子さんのよいところを、本人やおうちの方に具体的に伝えることができる。
- ・ご家庭とお子さんの情報を共有することができる。

※はなまるノートの残りがなくなった場合は、ご自宅で次のノートの準備をしていただきますよう、お願いいたします。

※別に相談がある場合はノートを一冊各ご家庭で用意して下さい。療育当日に返事を書くことが難しいかもしれませんので、スタッフは読んだら印鑑かサインを書かせていただきます。お子様と遊んだり対応することに重点をおきたいと考えておりますので、後日、改めてお返事は必ず致します。どうぞご理解のほど、お願いいたします。

●他機関との併用について

・ちゅーりっぷ枠は幼稚園・保育園との併用枠になっていきますので、1週間のうち利用曜日は各ご家庭との相談の上、契約になります。

・一日に2カ所の児童デイは使えませんので、さんりんしゃ利用の日に別のデイの体験やご利用が重複しないようお願いいたします。

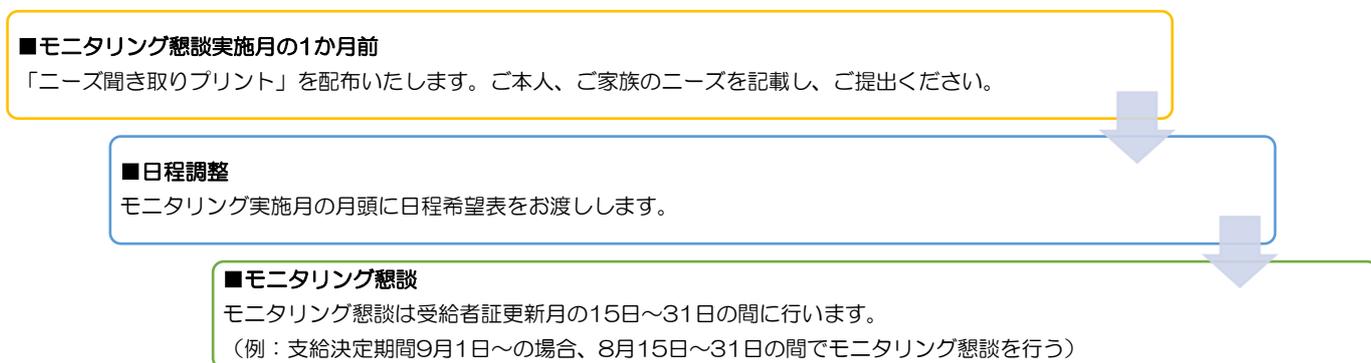
・急な体調不良などによるお休み（欠席時対応加算が生じる場合）、お休みした同日に他事業所を利用されると札幌市へ提出の書類に不備が生じてしまいますのでお控えください。

●モニタリングについて



- ・令和6年度より受給者証の更新月を基準に6か月に1度モニタリング懇談を行います。

※モニタリングの流れ（モニタリングは年2回です。）



●その他

■新しい受給者証が届いたとき

- ・通所受給者証に変更のあった場合や新しいものが届いた場合は、さんりんしゃにご提出ください。

■来訪者について

- ・第三者の評価は受けておりませんが、閉鎖的な環境にならないように努めており、学生実習の他、法人内の機関支援や法人内外からの視察見学を受け入れております。

■非常時の対応について

- ・非常時を想定し、職員研修の中で緊急時対応マニュアルの確認・搜索訓練、子ども達と地震訓練・火災訓練を実施しています。

■夏休み・冬休みなどの長期休みの送迎について

- ・普段と幼稚園の長期休みの時の、送迎場所や送迎方法が異なる方は、いつからいつまでが長期休みになるのか、変更になる送迎方法など事前にご連絡をいただけたらと思います。

■親同士のつながりについて

- ・さんりんしゃでは親の会は構成しておらず、保護者会や茶話会、行事等を通じての保護者交流を行なっています。昨今、様々な問題もありますので、保護者同士の自由な交流の場でのSNS等のアカウントの交換は十分に気をつけて、それぞれの判断でお願いします。加えて、物品や金銭の貸し借りは後にトラブルにつながりますので、ご注意ください。